

「ガバナー補佐として感じたこと」

国際ロータリー第2640地区IM2組

ガバナー補佐 田中 良典（有田南ロータリークラブ）



昨年度の中島ガバナーに引き続き、今年度の平尾ガバナー年度もガバナー補佐の任務を拝命することになり、余すところ4ヶ月となりました。

今年度平尾ガバナーのもとで一年間の経験によって得た見識をもとにして、ガバナーの足を引っ張ることなく、大いに躍進してみたいとの思いで今日まで勉めてまいりました。これまで私の担当の各クラブを訪問して感じたことは、各クラブ間には相当な隔差があったようであります。これは或る意味では、活発なクラブとそうでないクラブがあったと言うことであり、問題をはらむものではありません。良い意味では各クラブの主体性、自主性がそれぞれのクラブらしさを発揮されていた結果、バラエティーに富んだクラブが出来たと思います。そしてこれこそがロータリーの特質を表したものかもしれません。ただ急激に変革する流れに即応して、ロータリーも大きく変身しました。いや変わり過ぎてしまったとも言えます。そうした中毅然とした”ロータリーらしさ”が色褪せ希薄になったことは否めません。奉仕の理想のもとに集うロータリアンとしてあるべき姿を認識する事が大切ではないでしょうか？！

補佐の努めは、手続要覧やDLPに明記されていますが、つまりガバナーの意図を的確にクラブへ伝達し、担当クラブの活動計画の進展状況をガバナーに報告し、問題に取り組む方法を提案する事、等とありますが、果たしてガバナーとクラブのパイプ役になり得ているのかと、自問自答致しております。

今年度は突然、クラブリーダーシッププラン(C. L. P)の問題がクローズアップされ、各クラブではいろんな意見が続出致しておりますが、これからの各クラブの成長、安定、成功、の為、何が最善の方法か十分検討され、素晴らしいクラブをつくられる事をお祈り致します。

残り期間もう1. 2度、各クラブ訪問させて頂けたらと思っております。常に暖かい眼差しで迎えて頂き、流石ロータリーだと感謝感激で一杯です。

最後になりましたが、今年度のテーマ「超我の奉仕」の精神と、地区テーマ「充実した例会で出席率の向上」を高められることを期待いたします。

(RI第2640地区マンスリーレター・2006年3月号より)